

IBM i サービスとは？

初 版 2017/05/01

IBM i サービスとは？

システム提供の SQL ビュー、プロシージャ、および関数によりアクセスできる多数のシステム・サービスがあります。これらは、システム API にコード化する必要なしに、情報のアクセス、変換、順序付け、およびサブセット化を行うための SQL インターフェースを提供します。

但し、IBM i 7.2 Technology Refresh 2 (IBM i 7.2 TR2) および IBM i 7.1 Technology Refresh 10 (IBM i 7.1 TR10) が導入されている必要があります。

IBM i サービスの内容

V7.2

- [アプリケーション・サービス](#)
このプロシージャーは、CL コマンドを実行するための呼び出しインターフェースを提供します。
- [ジャーナル・サービス](#)
この関数は、ジャーナル情報を提供します。
- [オブジェクト・サービス](#)
この関数は、オブジェクト情報を提供します。
- [PTF サービス](#)
これらのビューは、PTF 情報を提供します。
- [セキュリティー・サービス](#)
これらのビュー、プロシージャー、および関数はセキュリティー情報を提供します。
- [ストレージ・サービス](#)
これらのビューは、ストレージ情報を提供します。
- [システム・ヘルス・サービス](#)
最も重要なシステム・リソースの場合、IBM i オペレーティング・システムは最も高い使用量とコンシューマーを自動的に追跡します。
- [TCP/IP サービス](#)
これらのビューは、TCP/IP 情報を提供します。
- [実行管理サービス](#)
これらのビューと関数は、システム値とジョブ情報を提供します。

IBM i サービスの内容

V7.3

- [アプリケーション・サービス](#)
これらのプロシージャおよびビューは、アプリケーションで使用できるインターフェースを提供します。
- [Java サービス](#)
このビューおよびプロシージャは、Java 情報および JVM 管理オプションを提供します。
- [ジャーナル・サービス](#)
この関数およびビューは、ジャーナル情報を提供します。
- [ライブラリアン・サービス](#)
これらのサービスはオブジェクトおよびライブラリー・リスト情報を提供します。
- [メッセージ処理サービス](#)
これらのビューは、システム・メッセージ情報を提供します。
- [プロダクト・サービス](#)
このビューは、ライセンス・プロダクトに関する情報を提供します。
- [PTF サービス](#)
これらのビューは、PTF 情報を提供します。
- [セキュリティ・サービス](#)
これらのビュー、プロシージャ、および関数はセキュリティ情報を提供します。
- [スプール・サービス](#)
このビューおよび関数は、スプール・ファイルに関する情報を提供します。
- [ストレージ・サービス](#)
これらのビューはストレージおよびストレージ・デバイスに関する情報を提供します。
- [システム・ヘルス・サービス](#)
最も重要なシステム・リソースの場合、IBM i オペレーティング・システムは最も高い使用量とコンシューマーを自動的に追跡します。
- [TCP/IP サービス](#)
これらのビューおよびプロシージャは、TCP/IP 情報を提供します。
- [実行管理サービス](#)
これらのビューと関数は、システム値とジョブ情報を提供します。

オブジェクト・サービス

OBJECT_STATISTICS

OBJECT_STATISTICS テーブル関数は、ライブラリー内のオブジェクトについての情報を戻します。

列名	データ・タイプ	説明
OBJNAME	VARCHAR(10)	ライブラリ名
OBJTYPE	VARCHAR(8)	オブジェクト・タイプ
OBJOWNER	VARCHAR(10)	オブジェクトを所有しているユーザー・プロファイル
OBJDEFINER	VARCHAR(10)	オブジェクトを作成したユーザー・プロファイル
OBJCREATED	TIMESTAMP	オブジェクトが作成されたときのタイム・スタンプ。
OBJSIZE	DECIMAL(15,0)	オブジェクトのサイズ (バイト単位)
OBJTEXT	VARCHAR(50)	オブジェクトの説明
OBJLONGNAME	VARCHAR(128)	オブジェクトの SQL 名
LAST_USED_TIMESTAMP	TIMESTAMP	オブジェクトが最後に使用された日付
DAYS_USED_COUNT	INTEGER	システム上でオブジェクトが使用されていた日数
LAST_RESET_TIMESTAMP	TIMESTAMP	使用日数が最後にゼロにリセットされた日付
IASP_NUMBER	SMALLINT	記憶域がオブジェクトに割り振られる補助記憶域プール
OBJATTRIBUTE	VARCHAR(5)	このオブジェクトのタイプの属性 (ある場合)

オブジェクト・サービス

例. ライブラリー内の全プログラムを抽出します。

```
SELECT * FROM TABLE
(QSYS2.OBJECT_STATISTICS( 'YYLIB ', '*PGM' )) AS X
```

データの表示

データの幅 : 514
桁移動

OBJNAME	OBJTYPE	OBJOWNER	OBJDEFINER	OBJCREATED	OBJSIZE	OBJTEXT
\$PRTSRC	*PGM	KANEKO	KANEKO	2007-10-17-18. 51. 22. 000000	94, 208	ソースメンバーの2連印刷
#KMJCVT	*PGM	KANEKO	KANEKO	2000-03-03-21. 31. 14. 000000	36, 864	英字変換 小文字→大文字
#MOVVRPG1C	*PGM	KANEKO	KANEKO	2007-06-17-18. 47. 02. 000000	151, 552	RPGプログラムソース・オブジェ
#SRIGCSPL	*PGM	KANEKO	KANEKO	1998-11-08-18. 33. 54. 000000	61, 440	COPY SPOOL FILE
#SRPTVMSG	*PGM	KANEKO	KANEKO	2000-03-13-21. 27. 19. 000000	28, 672	-
#SRSBDB	*PGM	KANEKO	KANEKO	2010-04-27-19. 54. 19. 000000	53, 248	半角と全角交じりを全角へ変換
@	*PGM	KANEKO	KANEKO	2008-01-20-08. 38. 40. 000000	24, 576	-
@AUTORN	*PGM	KANEKO	KANEKO	2008-02-09-22. 59. 48. 000000	32, 768	AUTO/400 定周期テスト
@AUTORNC	*PGM	KANEKO	KANEKO	2006-03-13-22. 04. 22. 000000	32, 768	AUTO/400 定周期テスト
@AUTOSTR	*PGM	KANEKO	KANEKO	2005-02-19-12. 42. 20. 000000	32, 768	AUTOSTART ON/OFF
@AUTOSTRX	*PGM	KANEKO	SYS	2001-11-14-16. 58. 51. 000000	28, 672	AUTOSTART ON/OFF
@AUTOSTR2	*PGM	KANEKO	KANEKO	1999-11-19-21. 31. 23. 000000	24, 576	前日営業日の取込み
@CHKSND	*PGM	KANEKO	SYS	1997-04-19-20. 54. 58. 000000	57, 344	対話型ジョブ監視用サブプロ
@CHKSYSMSG	*PGM	KANEKO	KANEKO	1998-10-30-23. 02. 42. 000000	40, 960	CHECK SYSTEM CONDITION USING DTAAR
@CHKSYSMS2	*PGM	KANEKO	KANEKO	2003-05-01-17. 57. 21. 000000	45, 056	CHECK SYSTEM CONDITION USING DTAAR
@DATE	*PGM	KANEKO	KANEKO	2009-12-21-13. 58. 05. 000000	77, 824	前日営業日の取込み CL=@DATECL
@DATE2	*PGM	KANEKO	E0118	2000-11-25-17. 07. 51. 000000	73, 728	-
@DATE3	*PGM	KANEKO	KANEKO	2003-06-23-11. 08. 30. 000000	77, 824	+n日後の営業日算出
@DATE4	*PGM	KANEKO	KANEKO	2003-07-04-10. 23. 05. 000000	73, 728	当日の営業日/休日判定

続く ...

F3= 終了 F12= 取り消し F19= 左 F20= 右 F21= 分割 F22= 幅 80

実行管理サービス

GET_JOB_INFO

GET_JOB_INFO テーブル関数は、特定のジョブについての情報を含む 1 つの行を戻します。

列名	データ・タイプ	説明
V_JOB_STATUS	CHAR(10)	ジョブの状況。
V_ACTIVE_JOB_STATUS	CHAR(4)	ジョブの初期スレッドのアクティブ状況。値のリストについては、『 Work Management API Attribute Descriptions in Application Programming Interfaces 』を参照して、「Active job status」を検索してください。
V_RUN_PRIORITY	INTEGER	このジョブ内のどのスレッドにも許可される最も高い実行優先順位
V_SBS_NAME	CHAR(10)	ジョブが実行されているサブシステムの名前
V_CPU_USED	BIGINT	このジョブにより現在使用されている CPU 時間量 (ミリ秒単位)
V_TEMP_STORAGE_USED_MB	INTEGER	このジョブに現在割り振られている補助記憶域の量 (メガバイト単位)
V_AUX_IO_REQUESTED	BIGINT	すべての経路指定ステップにわたってジョブが実行した補助入出力要求の数。これにはデータベースと非データベースの両方のページングが含まれます。
V_PAGE_FAULTS	BIGINT	指定されたジョブの現行の経路指定ステップ中に、主記憶域内でないアドレスをアクティブ・プログラムが参照した回数
V_CLIENT_WRKSTNNAME	CHAR(255)	SQL CLIENT_WRKSTNNAME 特殊レジスターの値
V_CLIENT_APPLNAME	CHAR(255)	SQL CLIENT_APPLNAME 特殊レジスターの値
V_CLIENT_ACCTNG	CHAR(255)	SQL CLIENT_ACCTNG 特殊レジスターの値
V_CLIENT_PROGRAMID	CHAR(255)	SQL CLIENT_PROGRAMID 特殊レジスターの値
V_CLIENT_USERID	CHAR(255)	SQL CLIENT_USERID 特殊レジスターの値

実行管理サービス

例. 指定ジョブの情報を抽出します。

```
SELECT * FROM  
TABLE(QSYS2.GET_JOB_INFO('347117/KANEKO/QPADEV0001')) A
```

データの表示

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
V_JOB00001	V_ACT00001	V_RUN00001	V_SBS_NAME			V_CPU_USED		V_TEM00001			V_AUX00001	
*ACTIVE	RUN	20	QINTER			677		8			308	
***** データの終わり *****												

データの幅 : 11536
桁移動

実行管理サービス

SYSTEM_VALUE_INFO

SYSTEM_VALUE_INFOは、システム値の名前とその値を戻します。システム値のリストは、[システム値検索 \(QWCRSVAL\) API](#) にあります。

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
SYSTEM_VALUE_NAME	SYSVALNAME	VARCHAR(10)	システム値の名前
CURRENT_NUMERIC_VALUE	CURNUMVAL	BIGINT	システム値が数値データの場合は、その値が含まれます。それ以外の場合は、NULL 値が入ります。
CURRENT_CHARACTER_VALUE	CURCHARVAL	VARGRAPHIC(1280) CCSID(1200)	システム値が文字データの場合は、その値が含まれます。それ以外の場合は、NULL 値が入ります。

実行管理サービス

例. 最大値に関連するシステム値を調べます。

```
SELECT * FROM SYSTEM_VALUE_INFO
      WHERE SYSTEM_VALUE_NAME LIKE '%MAX%'
```

行の位置指定

1	2	3	4	5	6	7
SYSTEM_VALUE_NAME		CURRENT_NUMERIC_VALU		CURRENT_CHARACTER_VA		
		E		LUE		
QMAXACTLVL			32,767	-		
QMAXSIGN			-	*NOMAX		
QPWDMAXLEN			10	-		
QMAXSGNACN			-	3		
QMAXJOB			163,520	-		
QMAXSPLF			9,999	-		
***** データの終わり *****						

実行管理サービス

SCHEDULED_JOB_INFO

SCHEDULED_JOB_INFO ビューは、ジョブ・スケジュール項目処理 (WRKJOBSCDE) コマンド・インターフェースによっても表示できる情報を返します。各ジョブ・スケジュール項目には、バッチ・ジョブを一度、または定期的なスケジュール間隔で自動的に投入するための情報が入っています。

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
SCHEDULED_JOB_ENTRY_NUMBER	ENTRYNO	INTEGER	項目をジョブ・スケジュールに追加する時にそのジョブ・スケジュール項目に割り当てられた番号
SCHEDULED_JOB_NAME	SCDJOBNAME	VARCHAR(10)	ジョブ・スケジュール項目の名前。これは、ジョブの投入時に使用される完全に修飾されたジョブ名の単純ジョブ名の部分です。また、これは、変更、保留、解放、および除去機能を介してジョブ・スケジュール項目を識別するためにも使用されます。
SCHEDULED_DATE_VALUE	SCDDATEV	VARCHAR(14)	ジョブの投入がスケジュールされている日付を示します。SCHEDULED_DATESCHEDULED_DATE 列に含まれている日付が使用されます。SCHEDULED_DAYSSCHEDULED_DAYS 列に含まれている曜日が使用されます。*MONTHSTR月の最初の日が使用されます。*MONTHEND月の最終日が使用されます。
SCHEDULED_DATE	SCDDATE	DATENULL 可能	ジョブの投入がスケジュールされている日付。SCHEDULED_DATE_VALUE 列が SCHEDULED_DATE でない場合は、NULL 値が入ります。
SCHEDULED_TIME	SCDTIME	TIME	ジョブがスケジュール日に投入されるようにスケジュールされている時刻

実行管理サービス

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
SCHEDULED_DAYS	SCDDAYS	VARCHAR(34) NULL 可能	特定の日付が指定されていない場合にジョブが投入される曜日。値は、*MON、*TUE、*WED、*THU、*FRI、*SAT、*SUN のすべてまたは一部が含まれたコンマ区切りのストリングです。7 つすべての値を表す単一値 *ALL が返されることがあります。 SCHEDULED_DATE_VALUE が SCHEDULED_DAYS でない場合は、NULL 値が入ります。
FREQUENCY	FREQUENCY	VARCHAR(8)	ジョブの投入頻度。*ONCEジョブは1回投入されるようにスケジュールされます。*WEEKLYジョブは毎週同じ日のスケジュール時刻に投入されるようにスケジュールされます。*MONTHLYジョブは毎月同じ日のスケジュール時刻に投入されるようにスケジュールされます。
RELATIVE_DAYS_OF_MONTH	RELDAYSMON	VARCHAR(13) NULL 可能	(SCHEDULED_DAYS 列にリストされている曜日について) 月において、ジョブの実行がスケジュールされているオカレンスを示します。値は、以下に示す値の中から最大 5 つの値が含まれたコンマ区切りのストリングです。1ジョブは、月の当該曜日 (例えば、SCHEDULED_DAYS: *MON および *WED) の最初のオカレンスにスケジュールされています。2ジョブは、月の曜日の 2 番目のオカレンスにスケジュールされています。3ジョブは、月の曜日の 3 番目のオカレンスにスケジュールされています。4ジョブは、月の曜日の 4 番目のオカレンスにスケジュールされています。5ジョブは、月の曜日の 5 番目のオカレンスにスケジュールされています。*LASTジョブは、月の曜日の最後のオカレンスにスケジュールされています。FREQUENCY 列の値が MONTHLY でないか SCHEDULED_DAYS が NULL の場合は、NULL 値が入ります。

実行管理サービス

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
RECOVERY_ACTION	RECOVERY	VARCHAR(7)	ジョブの投入がスケジュールされている時刻にシステムが電源遮断状態または制限状態になっている場合に実行する回復処置。*SBMRLSジョブは、解放されたジョブとしてジョブ待ち行列に投入されます。*SBMHLDジョブは、保留ジョブとしてジョブ待ち行列に投入されます。*NOSBMジョブはジョブ待ち行列に投入されません。
NEXT_SUBMISSION_DATE	NXTSUBDATE	DATENULL 可能	このジョブを投入するために、ジョブ・スケジューリング処理が次にスケジュールされる日付。ジョブの再投入がスケジュールされていない場合は、NULL 値が入ります。
STATUS	STATUS	VARCHAR(9)	ジョブ・スケジュール項目の状況。HELD項目は保留されます。項目がスケジュール日時に HELDの状況である場合には、ジョブは投入されません。保存項目は、ONCEの頻度および *YES の保管値で定義され、時刻はスケジュール日付および時刻より遅くなります。SCHEDULED項目はジョブのスケジュール日付および時刻まで投入を待機します。
JOB_QUEUE_NAME	JOBQ	VARCHAR(10)	ジョブの投入がスケジュールされるジョブ待ち行列。特殊値 *JOBQ が含まれることがあります。この特殊値は、JOB_DESCRIPTION_NAME 列および JOB_DESCRIPTION_LIBRARY_NAME 列にリストされているジョブ記述に指定されているジョブ待ち行列にジョブが投入されることを意味します。
JOB_QUEUE_LIBRARY_NAME	JOBQLIB	VARCHAR(10) NULL 可能	ジョブ待ち行列が入っているライブラリー。JOB_QUEUE_NAME が *JOBQ の場合は、NULL 値が入ります。

実行管理サービス

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
JOB_QUEUE_STATUS	JOBQSTATUS	VARCHAR(10) NULL 可能	ジョブ待ち行列の状況。HLDジョブ待ち行列は保留されますが活動サブシステムに接続されません。HLD/SBSジョブ待ち行列は保留されて、活動サブシステムに接続されます。LOCKEDジョブ待ち行列上でロックを行うことができないために、ジョブ待ち行列の状況を判別することはできません。RLSジョブ待ち行列は解放されますが、活動サブシステムに接続されません。RLS/SBSジョブ待ち行列は解放されて、活動サブシステムに接続されます。JOB_QUEUE_NAME が *JOBQ の場合、ジョブ待ち行列が見つからないか損傷を受けている場合、または情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。
DATES_OMITTED	OMITDATES	VARCHAR(219) NULL 可能	ジョブの実行がスケジュールされない日付を示した最大で 20 日の日付 (*ISO フォーマット) が含まれたコンマ区切りのストリング。除外する日付が指定されていない場合、または情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。
SCHEDULED_BY	CREATEDBY	VARCHAR(10)	ジョブ・スケジュールに項目を追加したジョブのユーザー・プロファイル。
DESCRIPTION	TEXT	VARCHAR(50) NULL 可能	ジョブ・スケジュール項目の説明テキスト。ジョブ・スケジュール項目に説明がない場合は、NULL 値が入ります。
COMMAND_STRING	COMMAND	VARCHAR(512) NULL 可能	投入されたジョブで実行されるコマンド。情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。
USER_PROFILE_FOR_SUBMITTED_JOB	SBMJOBUSR	VARCHAR(10) NULL 可能	ジョブの投入時に使用されるユーザー・プロファイル。ジョブ記述からのユーザー・プロファイルが使用されていることを示す特殊値 *JOBQ が入ることがあります。情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。
JOB_DESCRIPTION_NAME	JOBQ	VARCHAR(10) NULL 可能	ジョブの投入時に使用されるジョブ記述。投入されたジョブが実行されるユーザー・プロファイルに指定されているジョブ記述が使用されることを示す特殊値 *USRPRF が入ることがあります。情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。

実行管理サービス

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
JOB_DESCRIPTION_LIBRARY_NAME	JOBDLIB	VARCHAR(10) NULL 可能	ジョブ待ち行列が入っているライブラリー。JOB_DESCRIPTION_NAME の値が *USRPRF の場合、または情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。
MESSAGE_QUEUE_NAME	MSGQ	VARCHAR(10) NULL 可能	このジョブ・スケジュール項目のメッセージを送信する先のメッセージ待ち行列の名前。投入されたジョブが実行されるユーザー・プロファイルに指定されているメッセージ待ち行列が使用されることを示す特殊値 *USRPRF が入ることがあります。特定のメッセージ待ち行列がこのジョブ・スケジュール項目に関連付けられていない場合、または情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。
MESSAGE_QUEUE_LIBRARY_NAME	MSGQLIB	VARCHAR(10) NULL 可能	メッセージ待ち行列が入っているライブラリー。MESSAGE_QUEUE_NAME に NULL または特殊値 *USRPRF が含まれている場合、または情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。
LAST_SUCCESSFUL_SUBMISSION_TIMESTAMP	SBMTIMSTMP	TIMESTAMP(0) NULL 可能	ジョブ・スケジュール項目のバッチ・ジョブが最後に正常に投入されたときのタイム・スタンプ。ジョブの投入にジョブ・スケジュール項目が使用されていない場合は、NULL 値が入ります。
LAST_SUCCESSFUL_SUBMISSION_JOB	LASTSBMJOB	VARCHAR(28) NULL 可能	このスケジュール済みジョブの最後の投入時に使用された修飾ジョブ名。スケジュール済みジョブがこれまで投入されていない場合、または情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。

実行管理サービス

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
LAST_ATTEMPTED_SUBMISSION_TIMESTAMP	ATTSBMTIM	TIMESTAMP(0) NULL 可能	このスケジュール済みジョブが最後に投入されたときのタイム・スタンプ。スケジュール済みジョブがこれまで投入されていない場合、または情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。
LAST_ATTEMPTED_SUBMISSION_STATUS	SBMJOBSTS	VARCHAR(68) NULL 可能	<ul style="list-style-type: none"> •このスケジュール済みジョブが最後に投入されたときに関する状況。値は次の通りです。JOB SUCCESSFULLY SUBMITTED •LAST JOB SUBMISSION FAILED, CHECK THE JOB MESSAGE QUEUE FOR DETAILS •JOB NOT SUBMITTED DUE TO HELD STATUS •JOB SUBMITTED AFTER SCHEDULED TIME AS SPECIFIED BY RECOVERY ACTION •JOB NOT SUBMITTED AS SPECIFIED BY RECOVERY ACTION スケジュール済みジョブがこれまで投入されていない場合、または情報が使用可能でない場合は、NULL 値が入ります。
KEEP_ENTRY	KEEP	VARCHAR(3) NULL 可能	ジョブが投入された後にジョブ・スケジュール項目が保持されるのか除去されるのか。YESジョブ・スケジュール項目は保持されます。NOジョブ・スケジュール項目は除去されます。FREQUENCY 列に *ONCE が含まれていない場合、または情報が使用可能でない場合は、NULL

実行管理サービス

例. スケジュール時刻順に抽出します。

```
SELECT * FROM QSYS2.SCHEDULED_JOB_INFO ORDER BY  
SCHEDULED_TIME
```

データの表示

行の位置指定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	データの種 桁移動
	SCHEDULED_JOB_ENTRY_	SCHEDULED_JOB_NAME	SCHEDULED_DATE_VALUE	SCHEDULED_DATE	SCHEDULED_TIME	SCHEDULED_DAYS						
NUMBER												
6		TESTJOB1	SCHEDULED_DAYS	-	06:55:00	*ALL						
7		MNT01C	SCHEDULED_DAYS	-	08:00:00	*ALL						
3		UPCL	SCHEDULED_DAYS	-	09:00:00	*ALL						
8		MNT99C	SCHEDULED_DAYS	-	12:00:00	*ALL						
5		TEST1	SCHEDULED_DAYS	-	13:42:20	*ALL						
14		TEST2	SCHEDULED_DAYS	-	13:42:20	*ALL						
15		TEST3	SCHEDULED_DAYS	-	13:42:20	*ALL						
2		WEEKLYBKUP	SCHEDULED_DAYS	-	16:00:00	*SAT						
*****	データの終わり	*****										

実行管理サービス

SYSTEM_STATUS_INFO

SYSTEM_STATUS_INFO ビューは、現行区画に関する詳細が入っている単一行を返します。返される情報は、システム状況処理 (WRKSYSSTS) コマンドおよびシステム活動の処理 (WRKSYSACT) コマンドで表示される詳細に似ています。これは統計列をリセットしません。それを行うには、関連テーブル関数 [SYSTEM STATUS テーブル関数](#) を使用します。

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
TOTAL_JOBS_IN_SYSTEM	TOTAL_JOBS	INTEGER	<ul style="list-style-type: none"> •現在システムにあるユーザー・ジョブおよびシステム・ジョブの合計数。合計には次のジョブが含まれます。処理を待機中のジョブ待ち行列上のすべてのジョブ •現在活動状態 (処理中) のすべてのジョブ •実行が完了したが作成される出力がまだ出力待ち行列上にあるすべてのジョブ
MAXIMUM_JOBS_IN_SYSTEM	MAX_JOBS	INTEGER	<ul style="list-style-type: none"> •システムで許可されるジョブの最大数。ジョブの数がこの最大に達した場合には、システム上でそれ以上のジョブは投入または開始できなくなります。合計には次のジョブが含まれます。処理を待機中のジョブ待ち行列上のすべてのジョブ •現在活動状態 (処理中) のすべてのジョブ •実行が完了したが作成される出力がまだ出力待ち行列上にあるすべてのジョブ
ACTIVE_JOBS_IN_SYSTEM	ACT_JOBS	INTEGER	システムで活動状態のジョブ (開始されて、まだ終了していないジョブ) の数。ユーザー・ジョブおよびシステム・ジョブの両方を含みます。

実行管理サービス

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
INTERACTIVE_JOBS_IN_SYSTEM	INTER_JOBS	DECIMAL(5,2)	この論理区画に割り当てられた対話式パフォーマンスの割合。この値は、物理システム全体で使用可能な合計対話式パフォーマンスのパーセンテージです。
ELAPSED_TIME	ELAP_TIME	INTEGER	測定開始時刻から現在のシステム時刻までに経過した時間 (秒)
ELAPSED_CPU_USED	ELAP_USED	DECIMAL(5,2)	処理装置が使用中であった経過時間の平均
ELAPSED_CPU_SHARED	ELAP_SHARE	DECIMAL(5,2) NULL 可能	経過時間の中にプールを用いるすべての区画が使用する、共用プロセッサ・プールの総容量の割合。この区画がプロセッサを共用しない場合は、NULL を返します。
ELAPSED_CPU_UNCAPPED_CAPACITY	ELAP_UNCAP	DECIMAL(5,2) NULL 可能	統計が最後にリセットされたとき以降に使用された区画の上限非制限共用処理容量の割合。この区画での使用量が構成されている処理容量を超えていない場合は、NULL が返されます。
CONFIGURED_CPUS	CONFIGCPUS	INTEGER	区画用に構成されている CPU の総数
CPU_SHARING_ATTRIBUTE	CPU_SHARE	VARCHAR(8) NULL 可能	この属性は、この区画がプロセッサを共用しているかどうかを示します。区画が物理プロセッサを共用していないことを値が示している場合、この区画は専用プロセッサのみを使用しています。区画が物理プロセッサを共用していることを値が示している場合は、この区画は物理プロセッサの共用プールから物理プロセッサを使用しています。

実行管理サービス

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
CURRENT_CPU_CAPACITY	CPU_CAP	DECIMAL(5,2)	現行処理能力は、区画内で使用されている処理装置を指定します。複数の物理プロセッサを共有する区画の場合、現行処理能力は、実行しているプール内でのそれらの物理プロセッサの占有率を表します。専用プロセッサを使用する区画の場合、現行処理能力は、区画で現在活動状態の仮想プロセッサの数を表します。
AVERAGE_CPU_RATE	CPU_RATE	DECIMAL(5,2)	平均CPU速度はパーセンテージで表され、100%は、プロセッサがその公称周波数で稼働中であることを示します。100%より大きい値または小さい値は、プロセッサ・モデルの公称周波数に比べて、プロセッサがどの程度スローダウン（スロットル）したか、または、スピードアップ（ターボ）したかを示します。例えば、値120%は、プロセッサは公称速度に比べて20%速く実行していることを示します。
AVERAGE_CPU_UTILIZATION	CPU_AVG	DECIMAL(5,2)	すべてのアクティブなプロセッサの平均 CPU 使用率
MINIMUM_CPU_UTILIZATION	CPU_MIN	DECIMAL(5,2)	最小 CPU 使用率を報告したプロセッサの CPU 使用率
MAXIMUM_CPU_UTILIZATION	CPU_MAX	DECIMAL(5,2)	最大の CPU 使用率を報告したプロセッサの CPU 使用率
SQL_CPU_UTILIZATION	CPU_SQL	DECIMAL(5,2) NULL 可能	常に NULL 値が含まれています。

実行管理サービス

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
MAIN_STORAGE_SIZE	MAIN_STG	BIGINT	システム内の主記憶域の容量 (キロバイト)。
SYSTEM_ASP_STORAGE	SYS_STG	BIGINT	システム補助記憶域プール (ASP 番号 1) の記憶容量 (メガバイト単位)。この値は、永続オブジェクトと一時オブジェクトの両方の記憶域に使用可能なスペースの容量を表します。
TOTAL_AUXILIARY_STORAGE	AUX_STG	BIGINT	システム上の合計補助記憶域 (メガバイト単位)
SYSTEM_ASP_USED	SYS_RATE	DECIMAL(5,2)	現在使用中のシステム記憶域プール (ASP 番号 1) のパーセント
CURRENT_TEMPORARY_STORAGE	TEMP_CUR	INTEGER	一時オブジェクト用に使用されている記憶域の現在の容量 (メガバイト単位)
MAXIMUM_TEMPORARY_STORAGE_USED	TEMP_MAX	INTEGER	最後の IPL 以降の任意のある時点における、一時オブジェクトに使用されていた記憶域の最大容量 (メガバイト単位)
PERMANENT_ADDRESS_RATE	PERM_RATE	DECIMAL(6,3)	使用可能なアドレスに対して、使用済み永続オブジェクトの占めるパーセント
TEMPORARY_ADDRESS_RATE	TEMP_RATE	DECIMAL(6,3)	使用可能なアドレスに対して、使用済み一時オブジェクトの占めるパーセント
TEMPORARY_256MB_SEGMENTS	TEMP_256MB	DECIMAL(5,2)	使用された可能な最大一時セグメント (256 MB) のパーセント
TEMPORARY_4GB_SEGMENTS	TEMP_4GB	DECIMAL(5,2)	使用された可能な最大一時セグメント (4 GB) のパーセント
PERMANENT_256MB_SEGMENTS	PERM_256MB	DECIMAL(5,2)	使用された可能な最大永続セグメント (256 MB) のパーセント
PERMANENT_4GB_SEGMENTS	PERM_4GB	DECIMAL(5,2)	使用された可能な最大永続セグメント (4 GB) のパーセント

実行管理サービス

列名	システム列名	データ・タイプ	説明
HOST_NAME	HOST_NAME	VARCHAR(255)	この情報が生成されたシステムの名前
PARTITION_ID	PART_ID	INTEGER	このビューが実行されている区画の ID
NUMBER_OF_PARTITIONS	NUM_PART	INTEGER	システム上の区画の数。これには、現在電源がオンになっている (実行中の) 区画および電源がオフになっている区画が含まれます。
ACTIVE_THREADS_IN_SYSTEM	ACT_THREAD	INTEGER	ユーザー・スレッドとシステム・スレッドの両方を含む、システム内の初期スレッドおよび 2 次スレッド (開始されているが、まだ終了していないスレッド) の数
RESTRICTED_STATE	REST_STATE	VARCHAR(3)	システムが制限状態になっているかどうか。NOシステムは制限状態ではありません。YESシステムが制限状態になっています。

実行管理サービス

例. 区画の記憶域および CPU 状況を確認します。

```
SELECT * FROM QSYS2.SYSTEM_STATUS_INFO
```

データの表示

行の位置指定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
TOTAL_JOBS_IN_SYSTEM												
MAXIMUM_JOBS_IN_SYST												
ACTIVE_JOBS_IN_SYSTE												
INTERACTIVE_JOBS_IN_												
ELAPSED_TIME												
ELAPSED_CPU_USED												
	1,663		163,520		170		.00		1		1.80	

***** データの終わり *****

データの表示

行の位置指定	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
ELAPSED_CPU_SHARED												
ELAPSED_CPU_UNCAPPED												
CONFIGURED_CPUS												
CPU_SHARING_ATTRIBUT												
CURRENT_CPU_CAPACITY												
AVERAGE_CPU_RATE												
	-		.40		1		UNCAPPED		.25		87.50	

***** データの終わり *****